

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第6回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

・春日山城跡の観光振興策について

(2) その他（公開）

3 開催日時

令和5年9月19日（火）午後6時30分から午後8時30分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：太田一巳（会長）、岡本重孝、白濱昭博、田中裕子（副会長）、谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、松澤優作、丸山佳子、山田 孝、吉田 実（副会長）、吉田義昭、渡邊康子、渡部忠行（欠席3名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【渡邊係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会長が遅れて来られるため、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、吉田副会長が議長を務めることを報告

【吉田副会長】

- ・会議録の確認：丸山委員に依頼

次第3議題「(1) 自主的審議事項」の「春日山城跡の観光振興策について」に入る。
事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

- ・資料の年間予定（春日区）に基づき説明。
- ・9月1日に観光分科会を開催し、意見書案に関して市の担当課（魅力創造課、文化行政課）へ、概要を事前説明した。その内容について報告。

○意見書（案）の具体提案事項に対する担当課の意見

- ・埋蔵文化財センターの用途変更について（文化行政課）

文化庁の補助金を活用していて、用途変更を行うと補助金の返還義務が生じる。新規に施設を建設することと、補助金を返還の上、埋蔵文化財センターを改修、さらにセンター機能を移転することと、どちらが安価かを比較する必要がある。

- ・名産品の提案について（魅力創造課）

限定した商品となると、販売している菓子組合への意見となる。「見よう、食べよう、学ぼう」というような、観光地で楽しみたいことが春日山で完結しないにせよ、少しでもできるとよい。

- ・食事の機能について（魅力創造課）

現在、春日山エリアで食事を提供し頑張っている店舗と共存することが重要だ。

○質疑

- ・観光に関するユニバーサル対応について

〔質問：魅力創造課〕障害のある方や高齢の方も健康な人と同じく体験や味覚を楽しみたいというニーズがある中で、山頂までアクセスできるようにするか、あるいは山城であり車両を制限するか、どう考えるか。

〔回答：地域協議会〕誰もが行ける場所にしたい。意見書ではモノレールの設置を提案しているが、シャトルバスの運行などでもよい。

- ・愛宕谷周辺の整備とPRについて

〔質問：地域協議会〕古道を含めた春日山の歴史的価値、魅力を周知してほしい。

黒金門がわかりにくい。周辺の古道は春日山城跡保存整備促進協議会が整備した。

〔回答：文化行政課〕学校や散策会で活用されている。愛宕谷公園から神社に上る黒金門、御屋敷の看板は、春日山城跡保存整備促進協議会から整備していただい

た。ここは史跡の範囲外で私有地のため、行政が手を入れられなかったが重要な箇所である。

・春日橋周辺の新たな住宅について

〔質問：地域協議会〕林泉寺手前の市街化調整区域と思われる箇所に新興住宅が建設されているが、史跡の指定地ではないのか。

〔回答：文化行政課〕市街化調整区域の運用で若干規制が緩和されたため、住宅を建てられるようになった。指摘箇所は史跡の指定地でないので、規制が及ばないエリアである。

・町家の復元について

〔質問：地域協議会〕麓の町家を再現して、武家屋敷の雰囲気づくりができないか。

〔回答：文化行政課〕中世の山城において、近世のような城下町としての都市計画・整備がされていたかは不明なため難しい。

・埋蔵文化財センター北側の畔を平らにできないか

〔質問：地域協議会〕広大な土地の草刈りをしているが、高齢者が多いので続かない。旧地形の畔などが残っていて、平らでないため手で刈らなくてはならないところもある。重機を入れ、平らにできないか。

〔回答：文化行政課〕面積が広いエリアでは、雨水などの水処理を計算した上で整備しなければならない。現状、排水機能はとても低い。

・上越観光物産センターの機能について

〔質問：地域協議会〕観光物産センターが休館となって、春日山に移すということか。

〔回答：魅力創造課〕観光物産センター内で特産品の物販を担っていた民間事業者は、上越あるるん村に新規出店した。市長発言の春日地区の施設とは異なる。

○魅力創造課からの情報提供

- ・コロナの前後で観光のトレンドが大きく変わっている。
- ・団体旅行から個人旅行へとシフトしてきている。
- ・特にインバウンドは、スマートフォン一つで情報を調べて来る。台湾、韓国、シンガポールの方にもPRできれば、来てもらうこともできると思う。
- ・マーケットとしては関西、関東が大きいですが、そこに手が回っていないのは事実である。
- ・今後、春日山は周年を迎えて、旅行会社のツアーも商品化されると思われる。その

一方で、個人客へのPRは課題だと捉えている。

【吉田副会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、「春日山城跡の観光振興策について」の意見書(案)の審議に移る。審議の進め方について、事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

意見書(案)の具体事項が8つに構成されている。今後、3回の協議会で3項目ずつ審議を進めていくことが適当と考える。

(意見無し)

【吉田副会長】

・「1 春日山周辺の道路、駐車場の問題と対策」について説明

(議長交代)

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

【谷委員】

学校で愛宕谷公園を利用しているのか、それともこれからなのか、確認したか。

【吉田副会長】

文化行政課からは、小・中学校が使っていると聞いている。使用頻度はわからない。

【谷委員】

様子を見る限り、実際使っているのか疑問だ。もっと現実的な話をしていかないと難しいと思う。目標としてはよいが、現実的にどうするかということを議論すべきである。

【太田会長】

今の件について補足する。小学6年生が春日山へ行きたいということで、観光ガイドの問い合わせがあり、教育委員会が対応したという話を聞いた。実際、春日小学校では、春日山で自然体験などをさせたことで、子供たちにプラスになっている。他の小学校でも年に1回程度、そのように活用しているという事例も聞いている。今年も行ってきた小学校があると聞いていて、そういう事例は少しずつ出てきている。

【谷委員】

以前、吉田副会長が春日小学校の子供たちと愛宕谷公園の水質調査に行ったように、

行事を考えて、どう活用するのかを具体的に考えた方がよいと思う。

【吉田副会長】

市内の学校は春日山を必修とすべきだ。上杉謙信が活躍した場所は地元の誇りであり、そこで体験する。子供の頃に学んだことは記憶に残る。教材に使うべきだと思う。

【谷委員】

地元が意気込みを持ってやらないと意味がない。

【吉田副会長】

一般市民向けには、ウォーキングイベントやオリエンテーリングなどのイベントが必要だ。春日山城跡保存整備促進協議会の人たちが、少ない予算の中で古道を整備したことは感謝する。それがなければ今回の話もなかった。

【太田会長】

他に意見はないか。

【谷委員】

上越商工会議所青年部の「越後謙信きき酒マラソン」は、春日区において立派な活動だと思うが、実は地元の人あまり関心がない。沿道から手を振る人もいない。実際に見た地元の人がどれぐらいいるのか。私は毎年見に行っていて、活動内容が随分改善され、面白いことをやるようになっている。今年は11月5日にあるので、地域協議会委員の皆さんもぜひ見ていただいて、盛り上げてもらいたいと思う。

【本多委員】

6ページに車両通行止めの写真があるが、この道路はいつ崩れたのか。

【吉田副会長】

かなり前だと思うが、いつからかはわからない。

【本多委員】

史跡内だと文化庁の許可申請もあり、簡単には直せない。当然、道路であれば早く復旧してもらうのがよいとは思いますが難しい。

【吉田副会長】

だから声を上げないと何も動かない。このままだと、崩れて修復不可能な道になる。

【本多委員】

「土の一袋運動」を行っているのに、崩れた道路は修復されないというのはおかしい。こういう大事な道路も復元の一つであり、特に山城では、環境が悪くなり、土砂崩れが

起きている。そういう整備も大事なので、要請をよろしくお願いしたい。

【太田会長】

中学生が活動している「土の一袋運動」は、今年は10月28日土曜日に行うと聞いている。そういう形で地域の子供たちもいろいろな形で関わってもらえればよいと思う。

【松澤委員】

国が春日山城跡周辺の調査に乗り出すとの新聞記事を見た。どういう目的で調査するのかわからないが、市民が春日山城の復元を望んでいるのかを含め調査すると書かれていた。とてもよい機会であり、いろいろな団体と手を取り合って進んでいけたらと思う。

【吉田副会長】

地元には春日山城の復元という要望がずっとある。否定的な話としては、証拠がない、図面がない、写真もないことが挙げられる。上田城で一部欠けたところ復元をできたのは、昔の写真が残っていたおかげ。春日山城の本丸周辺の復元は無理だと思うが、可能性があるのは監物堀。発掘すればある程度形状がわかるので、堀と土塁は復元できるのではないかと。実際に一部復元されている。国が動いてくれるのは、ありがたい話だ。

【太田会長】

春日小学校の児童は3年生から春日山に上り始める。3年生と4年生は、年に30回から40回ほど行くと聞いている。大手道や愛宕谷公園は水の勉強で用水路など行っているため、いろいろな形で活用してもらえれば良いと思う。

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に移る。

【吉田副会長】

- ・「2 監物堀や史跡保存エリアの活用によるフラワーパーク構想」について説明

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

【谷委員】

ものがたり館のところは綺麗に整備されているが、こういう良い見本があるのに広がっていない。具体化する方法と維持する方法をあわせて考えていかなければならない。継続することを考えないと、草が刈られて綺麗になっているだけでもったいない。そういうところをどうするのかと声を上げていかないと、構想としてあっても実現が難しい。

ただ、この範囲は、山をいじるよりも可能性は高いと思う。また、管理の組織化を考えていかないと、花を植えただけで、何年か経ったら荒れ果ててしまう。継続できる組織を作らないと、観光として見てもらうのは難しい。その辺も考えていただきたい。

【岡本委員】

ビジターセンターの裏側、草を刈るときに大変苦勞するような広いところに、木を植えるという話がなかったか。

【吉田副会長】

先日市長との懇談会があり、地元の方がケヤキを植えたらどうかと提案があった。

【岡本委員】

その後のメンテナンスで手がかからないので木を植えるのはよいと思うが、植えるなら、やはり上越なら桜ではないか。高い木が茂る下は草が生えにくく、管理が簡単になると思う。

【吉田副会長】

深く根を張る木はだめらしい。

【太田会長】

例えば 30 c m以上のパイプ等の単管を打つとか、杭を打つとかいったことはできない。以前、謙信公祭の時にそういうことがあった。桜を植えればよい公園になると思うが、現実的には難しい。

【山田委員】

高田城址公園には、郵便局の交差点から入っていくと左側に大きな看板がある。難しいかもしれないが、春日山の入口や、春日山旅館下の駐車場など、春日山城はこうだったというのがわかる、高田城址公園のような看板の設置を提案したい。

【渡部委員】

春日山城史跡広場管理組合の役員をしており、広い場所を手で草刈りをしている。自動草刈機もあるが、畦道があって通れない。入れるようにしてほしいと要望したが通らない。観光庁の「令和 5 年度地域の新たなレガシー形成事業」に採択された。こんな良いチャンスはない。地元にする気のある人、リーダーになってやる人が少ないという話があったが、春日山城跡保存整備促進協議会がやる気にならないといけない。

町内会で草刈りをさせられている。春日野の担当は、春日山神社からトイレまでと、トイレ周りから脇に入っていく道だが、もう少し広くすれば非常に良い道になる。そし

て、愛宕谷からの道は、足腰に負担がかかる。もっと道を綺麗にしなければいけない。残念ながら、我々は実行部隊でもないし資金もない。町内会長連絡協議会の役員と協議する際は、どんどんそういう話をしてほしい。地元にする気がないと言われるのが一番まずい。根本的に道を直したりしないと、多くの人を呼ぶのは難しいと思う。

【太田会長】

町内会長連絡協議会の三役にこちらの意見を伝えたいと思う。

【白濱委員】

まずお金をかけずにできることはないか、いろいろ考えていた。提案だが、ウォーキングで、例えば春日山の駐車場から春日山神社、謙信公の銅像を見て帰ってくる30分コース、もう少し上まで行って戻る1時間コース、頂上まで行って戻る2時間コースなど、時間を入れたコースを作るだけで親しんでもらえる。外向けというよりも、まずは地元から始めれば、お金をかけずに来年度からスタートできると以前から考えていた。あとは、公園を祝日も含めて開放して、何かできないかと思っている。

【太田会長】

高志小学校の話だが、春日山に行くには距離がある。学区内の正善寺川等をフィールドにした総合学習を行っていて、6年生は1、2回春日山に行くものの、春日小学校と比べるとどうしても違いが出てしまうと聞いたことがある。

【白濱委員】

中学校の生徒間に温度差があると聞く。春日小学校と高志小学校の子供たちの春日山に対する思い、知識や認識に温度差があると聞いているので、そこを埋めてあげたい。

【太田会長】

私も高志小学校に年に1、2回訪問する。1時間だけ時間をもらって、春日山や上杉謙信公に関心を持ってもらえるよう、今年は5、6年生への講演や武将隊の演武を觀賞してもらった。かつては何もなかった。ここ5年ぐらい取り組んでいて、春日中学校区を挙げて、関心を持ってもらえるようになっている。少しずつ進んでいけばよいと思う。

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に移る。

【吉田副会長】

- ・「3 埋蔵文化財センターを『春日山観光ビジターセンター』に」について説明

【渡部委員】

市長が市議会で、新たな観光物産センターの建設場所は春日山の麓と答えている。建設現場も想定しているという話だったが、それももう無理のようになってきている。市役所内にブレーキをかける人がいる気がする。あそこに観光物産センターが建てばよいと思うが、食事処や物販の関係者に配慮するとなると、なかなか進まない気がして残念だ。

【太田会長】

私は、観光物産センターについて否定的な話だったとは受け取っていない。もともと入っていた上越観光コンベンション協会は、直江津屋台会館へ移転し、土産物に関しては、業者があるるん村に移転した。バスが停められるなど、利便性も高い。春日山への移転は別にゼロになったわけではなく、今は機能を分散しているだけで、可でも不可でもないと思っている。

【渡邊係長】

今まであった観光物産センターの土産機能は、あるるん村に移転した。市長が発言した春日地区の施設とは全く別の話である。土産機能について、春日地区に移そうとしていたのをやめて、あるるん村へ行ったわけではない。

【吉田副会長】

今回の提案は、春日山観光のためのビジターセンターを置く、土産物も春日山に関連したものを置く、飲食は食堂だと人件費がかかるので、謙信弁当とかを販売するというもの。市の土産センターではなく、春日山の土産センターと考えてもよい。

【吉田義昭委員】

12 ページに「監物堀と土塁の全体復元で春日山城復元の起点に」とあるが、実現するにはどうすればよいのか。そこは山城ではないし、お金をかけて調査すれば骨格が出てくるだろう。

【吉田副会長】

市長は、春日山での通年観光を挙げている。流れとしては非常に良い状況だ。それから、観光庁の事業が採択されて、復元の可能性を探ることになる。やはり監物堀の復元が最初ではないかと思う。市も動こうとしているので、どんどん提案してよいと思う。

【藤田委員】

若い人たちに立ち上がってもらうような機会を作って考えてもらう。市長の考えも大事だが、皆で力を合わせないとなかなか大変だ。若い人たちには、地元のことを考える

気持ちを持ってもらいたい。小学校のPTAでもよいのかもしれないし、そういう機会を設けられたらよいと思う。

【吉田副会長】

現場を見て学習して体験してというような、教えを受けてきた子供たちが大人になり活躍する。教育が大事である。

【藤田委員】

最後は未来のことを考えながら、行動していかないと。子供たちがどのように考えるのかということも大事にした方がよいと思う。

【本多委員】

春日山城跡の保存整備で、16、17年ほど前に国立公園にしたいという話があったが、門前払いにされた。町内会長連絡協議会との意見交換の際は、保存整備についてしっかり協議してほしい。やはり一緒に同じ方向で取り組む方が、より力強く進められる。

【丸山委員】

春日山のこういうイラスト等を見て、自分はほんの一部しか見ていないのだと気づかされる。看板などを目にする機会が多ければ、行ってみたいとか、今度はもう少し上まで行ってみようとか、興味を持つと思う。地元の人たちも、家族で春日山の辺りを歩くとか、花を眺めるとか、そんな一人一人の機会が多くなればよいと思う。

【渡邊委員】

地元に住るのに、なかなか春日山に興味、関心が持てない。県外から来られている人もいるのに、友達を誘って春日山に登ってみようとか、そんな気持ちにならない。自分がまず興味、関心を持たないと。こんな素晴らしい地図があり、市も一生懸命に取り組んでいることもよくわかった。まずそこからスタートしたいと反省している。

【田中副会長】

盛りだくさんの提案は、焦点がぶれてしまうような気がする。お金をかけないで盛り上げる方法があるのではないか。他地域の活動をニュースなどで見ると参考になる。何か行動する時に、お金がないとできないという問題が出てくる。フラワーパーク構想を掲げ、たくさんの花を植えたいと言っても、その種を買うにはお金がかかる。やはり私たちが行政に投げかけられることとしては、お金ではなく、人をどうやって動かすのかということだと思う。

春日山城の本丸に来る方は多い。春日山城は日本百名城であることを切り口とするな

ど、一般の人向けにPRできるもので、大きいものは市に任せ、市ができない、小さなものを地域協議会で提案していくという考えもあると思う。

【岡本委員】

個人的にはこの意見書3.「埋蔵文化センターを『春日山観光ビジターセンター』に」が、外からお客さんを呼ぶためには非常に大事だと思う。先日の意見交換会で埋蔵文化センターの用途を変更すると、文化庁に補助金を返還しなければならないと市の見解が示されたのを踏まえ、代替案を考えておく必要があるのではないかと。

【渡邊係長】

施設の用途変更や新設といった手法はあるが、意見書の書きぶりは、こんな機能のあるビジターセンターが必要だという程度でよいと思う。なお、事務局では、意見書の内容を要約したものを表書きとしてはどうかと考えている。

【吉田副会長】

全体会である2回審議を行う。とにかく最小の投資で最大の効果を生むための施策をできるかぎり提案するつもりだ。

【太田会長】

皆さんの意見で「考えてもらって」と聞くが、「考えてもらって」ではなく、皆で考える。他人事ではなく自分が当事者になって考える。「意見してもらって」ではなく、自分たちが意見をしている立場にならなきゃいけない。正副会長に何とかしてくれではなく、皆さんと一緒にやるという形でいきたいので、よろしくお願ひしたい。

【山田委員】

今の春日山荘のフロアをリフォームして、簡単な食堂やお土産を置くなどできないか。

【太田会長】

老朽化と耐震性から、今のまま何かに転用するのは難しい。市の敷地であり、更地にして新しいものを建てることはできると思う。向いに埋蔵文化財センターの駐車場もあり、場所としては悪くはないと思う。

【谷委員】

いろいろな意見や課題があるが、分科会としての優先順位、どういうことを優先して意見を集めるのか、ある程度の整理が必要だ。

【太田会長】

最後まで審議した中で、皆さんと優先順位を検討していく必要がある。

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「春日山城跡の観光振興策について」を終了する。

次に次第3 議題「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次第3 議題「(2) その他」を終了する。

次に、次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

・次回の地域協議会：10月17日（火）午後6時30分から 上越市市民プラザ（予定）

・内容：（自主的審議事項）春日山城跡の観光振興策について

【太田会長】

以上で次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」を終了する。

次に次第4「その他」の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(発言なし)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。